

海蔵小学校だより

平成26年10月3日（金）

— 「児童質問用紙」の結果から見える本校児童の傾向—

1 「児童質問用紙」の結果から見える子どもの生活・意識

児童質問用紙については、全部で74項目あります。全国学力・学習状況調査結果に照らして子どもの生活・意識について考察しましたが、必要以上に国語に対して抵抗感を持たないようです。しかし、調査回答が実際の学力調査結果と矛盾するところも多いようです。全国平均との比較において、「強み」「弱み」を見るために、特徴の出ている状況について掲載します。

(1) 強み（継続・発展を望むもの）

- ①食事や睡眠の生活習慣について、今年度も引き続き、顕著な乱れは見られず概ね良好。
- ②達成感の経験や自尊的感情（自己肯定感）について、全国平均を上回る。
- ③将来の夢や目標では、否定的な回答から結果は好転し全国平均を上回る。
- ④テレビ視聴（ビデオ・DVD含）が3時間以上という回答において、全国を下回るに好転してきた。
- ⑤テレビゲーム（ゲーム機・ネット含）が3時間以上という回答において、全国を下回るに好転してきた。
- ⑥読書活動時間については全国平均より好転し、下回っていた図書館(室)利用頻度は上回ってきた。
- ⑦家人（きょうだい除く）との夕食や会話の機会は、今年も全国平均を上回る。
- ⑧地区の行事への参加は、今年も全国平均を確実に上回る。
- ⑨自分で計画を立てて勉強しているかについて、若干全国平均を上回る。
- ⑩家庭学習について、宿題を家でする回答が今年は上回っている。
- ⑪学校に行くことと友達に会うことを楽しいという回答は、全国平均を上回る。
- ⑫学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがあるかについては、全国平均を上回った。
- ⑬地域行事への参加は全国平均を大きく上回っている。
- ⑭地域、社会での問題や出来事への関心は全国平均を上回っている。
- ⑮ニュースをテレビやインターネットで見るという回答は全国平均を上回っている。
- ⑯新聞を読む様子は全国平均を上回っている。

⑰学校のきまり，友だちとの約束を守るという回答は全国平均を上回っている。

⑱全国的な意識との比較で，国語や算数の学習に対して特筆すべき否定的な意識はない。

(2) 弱み (改善課題となるもの)

①友だちとのコミュニケーションは若干，全国平均を下回る。

②携帯，スマホによる通話，メール，ネット利用は2～3時間利用する者の割合が高い。

③家庭学習の時間は3時間以上する者の数は全校平均の半分ほど，30分以上する点では全国平均を下回っている。

④家庭での学習時間（土日）が，1時間以上の回答で全国平均を大きく下回り，1時間未満と皆無で突出，という昨年度の状況は変わっていない。

⑤家庭学習について，予習・復習するが下回り，全くしないが上回る状況は昨年と変わっていない。

⑥「総合的な学習の時間」では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいるかの質問に対する肯定的な回答は，24%の差で全国平均を下回る。

⑦5年生までに受けた授業では，自分の考えを発表したり友だちと話し合ったりする機会が与えられていたかへの回答は全国平均を下回っている。

⑧長文（原稿用紙2～3枚）を綴ることへの抵抗感が，昨年同様に高い。

⑨国語の勉強を好きと答えている回答は，全国平均を下回る。

⑩国語の授業では目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり書いたりしているかの回答は，5割を切り，全国平均を下回る。